中国顆粒学会の創設 (Chinese Society of Particuology)

(訳) 田 中 達 夫* 郝 玉 軍*
Tatsuo TANAKA Yu-Jun HAO

中国顆粒学会は粉粒体の科学と工学の研究、開発と応用に従事する人達の自発的な組織である。この学会は国内および国際的な科学的工学的シンポジウムやセミナーを通して会員間の連絡と交換の育成をはかり、また継続的な教育や科学的な研究報告、最近の興味あるニュースやいろいろの事柄についての雑誌の刊行によって、粉粒体に関する知識の普及のために作られたものである。その究極の目的は、近代化のための国家的な要請に役立つことにある。

Particuology という言葉は、粉粒体の科学と工学に対する中国の学問、すなわち顆粒学(ケリーシュエ)の意味を、粒子に対するラテン語の接頭語の Particula と学問の主題を示すギリシャ語の接尾語 Logia を並べて作られたものである。

粉体学はいろいろの基礎科学の知識と、多くの他の工学の成果を吸収した幾重にも交叉し関連し合った多学際的な分野である。大抵の固体物質は、自然界に産するとき土壌や砂やダストのような粉粒体の形をとる。人類が消費する食物はしばしば穀類、豆、塩や甘蔗糖のような粉粒体の形である。微粉炭、触媒、セメント、肥料、顔料、薬品および爆薬のような人工物は、大抵粉として製造される。これらの物質に関する基礎的現象の研究は、化学工業、金属工業、エネルギー工業、軽工業をはじめ環境保護や国防さらに健康保全に基本的に重大な意義をもっている。粉体学の広範囲な研究分野を示せば、粉体の測定やキャラクタリゼーション、粉体の発生と凝集、ガスや液からの粒子の分離、固体粒子の輸送、流動化、粉碎、造粒、エアロゾ

ルの科学と工学等々である。

顆粒学の地方の協会は主要な都市や省、たとえば上海、天津、広州、湖南省、四川省、江蘇省等にすでに設置されていたのであるが、今や合同して千人の会員を数えることになった。中国顆粒学会の国としての設立は1986年9月18日、国の科学技術委員会によって認められ、1986年11月27日、北京で開催された研究所、大学および工業界からの代表者会議において発足した。53人の指導委員会が選出され、それから14人の常任委員会が学会の管理部門として作られた。

中国顆粒学会は現在、雑誌の発行委員会と次のような専門である四つの研究部門をもっている。

- 粒子のキャラクタリゼーション
- エアロゾルの科学と工学
- 粒子のプレバレーションと取り扱い
- 流動化

常 任 委 員 会

会 長 :

Kwauk, Mooson ; 化学冶金研究所教授兼名誉所長,
中国科学院, 北京

副 会 長 :

Ren, Deshu ; 北京冶金装置研究所教授, 北京

昭和62年1月23日受付

*北海道大学工学部(〒060 札幌市北13条西8丁目)

TEL 011-716-2111 内線 6590

(中国顆粒学会連絡先: 中国科学院, 中国北京市)

Li, Shifeng ; 中南総合技術大学教授, 長沙
 Tong, Husong ; 中国紡織大学副教授, 上海
 Liu, Shujuan ; 化学冶金研究所副教授, 北京
 Hu, Rongze ; 中央鋼鉄研究所工程師, 北京
 Wang, Mingxing ; 大気物理学研究所副教授, 中国科学院, 北京

事務局長 :

Wang, Peiyun ; 化学冶金研究所総工程師, 中国科学院, 北京

常任委員 :

Lu, Shouci ; 武漢鋼鉄学院教授兼学長, 武漢
 Wei, Shiliu ; 華南工学院, 無機材料科学科, 広州
 Zhang, Bijiang ; 化学研究所教授, 中国科学院, 太原
 Chen, Bingchen ; 東北工学院教授, 瀋陽
 Su, Weihang ; 環境科学研究中心副教授, 中国科学院, 北京
 Zhu, Xuanhui ; 天津大学副教授, 材料科学科, 天津

——ご投稿にあたって——

投稿規定 (Vol. 23 No. 3 掲載) を十分ご確認の上, ご執筆願います。ページ数は,

研究報告	7 ページ
研究速報	3 //
寄 書	2 //
総 説	6 //
解 説	
技術資料	4 //
研究・技術情報	6 //

尚, 本会所定の原稿用紙 4 枚で刷り上り 1 ページとなります。
 図表は大きさにも依りますが, 4 図で 1 ページ相当です。